

2014年11月10日

2015年3月期 第2四半期 決算IR説明会 質疑応答概要

株式会社メイテック

1. 日 時 2014年11月6日(木) 16:00~17:10
2. 場 所 丸の内コンファレンススクウェア Mプラス 10F

3. 質 疑 応 答

質問 大手製造業のグローバル化が進む中、メイテックはグローバル化に対し、どのような対応を行っていくのか。

回答 大手製造業は設計開発業務の一部をすでに海外へ移転しているが、大半は日本国内で設計開発を行っています。なお、海外では現地向けにカスタマイズする設計開発が主流です。したがって、メイテックのエンジニアが担っている極めてハイエンドな設計開発分野が海外へ移転することは、現時点ではないと認識しています。ただし、今後の10年~20年先を見据えた動向は継続して注視していきます。

質問 女性の活用、女性が働きやすい環境整備について、どういった取り組みを行っているか。

回答 当社の採用基準は、性別や国籍は問わず、エンジニアとしての好奇心やチャレンジ精神を重視しています。女性のライフイベントについては、対応できる制度や環境を整備しています。しかし、「より働きやすい環境」という観点では、現状が完全なものとは思っていないため、今後も継続して、社員が「より働きやすい環境」を整備する取り組みを進めていきます。

質問 大型研修施設を売却することで、どれくらいの資金回収が見込まれるのか

回答 売却は、これからの交渉となるが、より多くの資金回収ができるよう考慮していきます。

質問 顧客TOP10比率が低下してきている理由は？

回答 リーマンショック以降、顧客基盤の強化として、既存顧客との取引を継続しつつ、新規顧客開拓を行っています。エンジニア社員数が増加している中、エンジニア社員のキャリアアップを意識し、成長企業、新規事業へシフトさせ、より多くのお客様とお取引させていただくことで、顧客層の分散が進んでいます。

質問 来期以降の採用戦略は？

回答 メイテックグループのプラットフォームを活用し、安心して職業としてのエンジニアをまっとうできる状態が確実に労働市場に浸透してきていると考えています。こうした状態を労働市場に訴求していきながら、今まで以上に応募者獲得力を強化し、かつ、応募者のフォローをより強化し、採用力を高めていきます。

質問 退職率を低下させていくために、今後こういった取り組みを行うのか？

回答 メイテックグループは、エンジニア社員1人1人が考えるキャリアを自己実現できるように会社がサポートする取り組みを継続して行っています。また、業務成果を確実に本人への処遇としてリターンできる状態を事業システムとして運営できている事がエンジニア社員の満足感につながっていくため、現在の取り組みを継続して行っています。

以上